



令和4年中、県内から特殊詐欺犯人グループに渡った金額(被害総額)は

総額 約5億587万円

※令和4年中の県内の被害状況(確定値)に基づく

オレオレ詐欺

被害者の平均年齢

約80歳

1件あたりの平均被害額

約281万円

キャッシュカードを狙う詐欺

被害者の平均年齢

約82歳

1件あたりの平均被害額

約170万円

還付金詐欺

被害者の平均年齢

約65歳

1件あたりの平均被害額

約101万円

架空料金請求詐欺

被害者の年齢

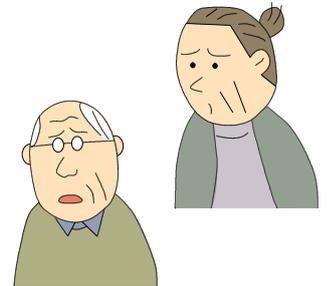
10代~80代

1件あたりの平均被害額

約120万円



被害は人ごとじゃない
犯人は詐欺師!
しかも、集団で、巧妙に
だましにかかります!



特殊詐欺被害に遭わないためには、
犯人と話をしない環境を整える「固定電話対策」
が有効です。
そして、普段から
「財産は自分で、しっかり守るもの」
との強い意識を持つことが大切です!



財産の管理について、見つめ直してみませんか...

宮城県警察本部生活安全企画課
または県内各警察署生活安全課

☎ 022 - 221 - 7171(代表)



特殊詐欺から財産を守る対策

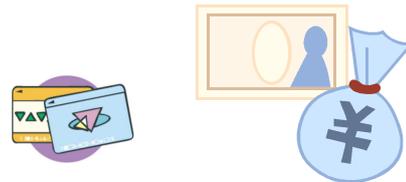
● 固定電話対策

- 在宅中も、留守番電話に設定している
- 防犯機能付き電話や特殊詐欺電話撃退装置を活用している
- 番号表示機能を活用し、電話に出るときは必ず、表示された番号を確認する
- 電話が鳴れば、「特殊詐欺」を疑い、警戒する
- 電話に出るとき、自ら、名乗らない
- 知らない相手と話をするとき、在宅状況や家族構成、資産状況を話さない
- 電話で「お金・キャッシュカード・還付金」の話が出たら、話の途中で電話を切る



● 財産の管理対策

- 自宅に高額のお金を保管しない
- 財産は、定期預金などを活用し、簡単に引き出せない
- キャッシュカードは真に必要な預貯金口座のものだけにする
- キャッシュカードに暗証番号を記載しない
- 何があってもキャッシュカードは渡さない、暗証番号は教えない
- キャッシュカードの利用限度額を低く設定する



● 家族・地域・社会の絆

- 家族とこまめに話をしたり、連絡を取り合っている
- ご近所など周りの方々と特殊詐欺の話をする
- 困ったときに、相談する人がいる
- お住まいの管轄交番・警察署やその連絡先を知っている
- 身に覚えのないお金の請求を受けたら、警察に相談する



被害に遭わないために、

が多くつくよう対策を講じましょう！

